

ピアサポートの意義および効果に関する包括的研究：

地域事業所のモニタリングとピアサポートの効果を測るコホート研究



質問紙票

ピアスタッフ用
(ピアスタッフ雇用群のみ)

本研究は、地域生活支援センターや就労継続支援 B 型を利用する新規利用者を 18 ヶ月の間追跡することによって、サービスが利用者のサービス満足度や生活の質等に与える影響について検証することを目的とします。利用者の変化に与える要因として、本研究ではピアスタッフの有無を要因として考える第 1 の仮説としますが、その他にも様々な要因が考えられます。つきましては、研究協力機関で働かれる皆さまにアンケート調査にご協力いただき、各事業所の特徴を把握したいと考えています。下記の注意事項をお読みになり、ご参加いただける場合は、□に✓をいれてください。

1. 本調査への参加、不参加は自由です。参加しないからといって、あなたに不利益が生じることはありません。
2. アンケートなどのこの研究に関するデータおよび個人情報外部に漏れることは一切ありません。
3. この研究において、あなたの個人情報は匿名化されて扱われます。また、アンケート結果は統計的に分析されますので、個人個人のデータを発表しません。
4. 研究により得られた情報は匿名化して 5 年間保存します。将来、この研究以外の目的で使用される可能性もありますが、その場合には倫理委員会で改めて審査され、承認を受けてから行われます。
5. この研究による成果は学会発表や論文など学術的な場のみで発表いたします。
6. この研究への参加により、あなたが追加でご負担いただく費用はありません。
7. この研究は、文部科学省科学研究費補助金の資金で賄われます。その他、研究の信頼性に影響を与えうるような利害関係を有する企業、団体からの資金は受けておりません。

私は上記の説明を読み、理解した上でアンケート調査に参加します

↑にチェック (✓) をいれてください。

機関 ID _____

スタッフ ID _____

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

●仕事の内容:

あなたのピアスタッフとしての業務全体を振り返って、以下の時間はどの程度の割合ですか？(勤務全体の時間を 100%としたときの、それぞれの仕事に費やす割合をお答えください)

「個別の相談」に対応している時間	利用者からの相談	勤務時間全体の () %
	利用者家族からの相談	勤務時間全体の () %
「機関の外での仕事」の時間		勤務時間全体の () %
「研修会・勉強会での講演」の時間	機関内で実施	勤務時間全体の () %
	機関外で実施	勤務時間全体の () %

●経験の共有:

ピアスタッフとしての支援の中で、利用者さんと、あなた自身のどのような経験について共有していますか？(当てはまる項目すべてにチェック)

利用者さんに対する経験の共有	あなたが持っているものに チェック✓
精神科の疾患・症状についての経験・体験	
精神科 <u>以外</u> の疾患・症状についての経験・体験	
服薬・薬の副作用についての経験・体験	
精神科への入院についての経験・体験	
精神科通院、その他精神関連のサービス・社会資源の利用についての経験・体験	
ピアサポートや当事者主体のサービスの利用についての経験・体験	
家族・家庭のこと(親との関係・夫婦関係・子育て等)についての経験・体験	
男女関係・恋愛・結婚についての経験・体験	
就労・仕事・働くことについての経験・体験	
教育・資格の取得についての経験・体験	
住居(一人暮らし、金銭管理、家事)についての経験・体験	
人間関係(近隣関係、友人関係等)についての経験・体験	
薬や治療以外で、自分でできる対処方法(例:音楽を聴く、友人とお茶をするなど)についての経験・体験	
病気や障害の受容についての経験・体験	
その他、経験を共有していることがあればお書きください:	

●権利擁護・アドボケイト:

ピアスタッフとしての支援の中で、利用者さんの権利をサポートしたり代弁する場面はありますか？権利擁護をするために、誰に対する働きかけを行っていますか？

(当てはまる項目すべてにチェック)

利用者さんの権利擁護（利用者さんの権利をサポートしたり代弁すること）	あなたがやっているものに チェック✓
あなたの職場の機関内のスタッフに対して	
主治医に対して（例：診察の付き添いなど）	
医療機関のスタッフに対して（例：デイケアの付き添いなど）	
医療機関以外の他機関のスタッフに対して（例：役所への付き添いなど）	
利用者家族に対して	
利用者本人に対して（利用者さんの権利擁護の意識を高めるなど）	
その他、利用者さんの権利をサポートしている場面があればお書きください：	

1. 以下の5つの各項目について、**最近2週間**のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください。数値が高いほど精神的健康状態が高いことを示していますのでご注意ください
例:最近2週間のうち、その半分以上の期間を、明るく、楽しい気分で過ごした場合には、3に○をつける。

最近2週間、私は…		いつも	ほとんどいつも	半分以上の期間を	半分以下の期間を	ほんのたまに	まったくない
1	明るく、楽しい気分を過ごした。	5	4	3	2	1	0
2	落ち着いた、リラックスした気分を過ごした。	5	4	3	2	1	0
3	意欲的で、活動的に過ごした。	5	4	3	2	1	0
4	ぐっすりとお休み、気持ちよくめざめた。	5	4	3	2	1	0
5	日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった。	5	4	3	2	1	0

2. あなたのまわりで、あなたを^{ささ}えてくれる人についておたずねします。

A. 次の項目について、あなたを支えてくれる人はいますか。あてはまる数字1つに○印をつけてください。「いる」に○印をつけた場合は、そのような人が何人いるか、人数を書いてください。

あなたが助けを必要とした時、実際にたよれそうな人はいますか。	1.いる→(人)	2.いない
あなたがプレッシャーを感じたり、緊張している時に、リラックスするのを助けてくれる人はいますか。	1.いる→(人)	2.いない
あなたとの長所も短所も含めて、すべて受け入れてくれる人はいますか。	1.いる→(人)	2.いない
あなたに何があっても、あなたを気にかけてくれる人はいますか。	1.いる→(人)	2.いない
あなたが落ち込んでいると感じるとき、気分がよくなるように助けてくれる人はいますか。	1.いる→(人)	2.いない
あなたが動揺しているとき、あなたを落ち着かせてくれる人はいますか。	1.いる→(人)	2.いない

B. 上でお書きした人たちからの^まえについて、あなたはどれくらい満足していますか。
次のそれぞれについて、あてはまる数字1つを○で囲んでください。

	非常に満足	まあ満足	少し満足	少し不満	わりと不満	非常に不安
あなたが助けを必要とした時、 実際にたよれそうな人はいますか。	1	2	3	4	5	6
あなたがプレッシャーを感じたり、緊張している時に、 リラックスするのを助けてくれる人はいますか。	1	2	3	4	5	6
あなたとの長所も短所も含めて、 すべて受け入れてくれる人はいますか。	1	2	3	4	5	6
あなたに何があっても、 あなたを気にかけてくれる人はいますか。	1	2	3	4	5	6
あなたが落ち込んでいると感じるとき、 気分がよくなるように助けてくれる人はいますか。	1	2	3	4	5	6
あなたが動揺しているとき、 あなたを落ち着かせてくれる人はいますか。	1	2	3	4	5	6

3. 精神的な健康やリカバリー(回復)について、現在、特にここ7日間のあなたの状態を思い浮かべてください。以下の文章について、あなたの体験を最も表している番号に○をつけてください。

	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	強くそう思う
1. 自分のことを良く思えるようになってきている	1	2	3	4	5
2. 人生でチャンスをつかめると思っている	1	2	3	4	5
3. いい人間関係を作れる	1	2	3	4	5
4. 社会の一員だと感じている	1	2	3	4	5
5. 自分の思っていることを言える	1	2	3	4	5
6. 自分の人生には意味があると思っている	1	2	3	4	5
7. 今までの経験のおかげで、私はいい意味で変わった	1	2	3	4	5

	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	強くそう思う
8. 過去に囚われず、前に進めるようになった。	1	2	3	4	5
9. 良くなりたいと強く思う	1	2	3	4	5
10.自分のやったいい出来事を思い返すことができる	1	2	3	4	5
11.より良く自分のことを理解できる	1	2	3	4	5
12.自分の人生は自分で引き受けることができる	1	2	3	4	5
13.自立のための支援を得ることができる	1	2	3	4	5
14.精神科(的)治療のメリット・デメリットを理解できる	1	2	3	4	5
15.今までの体験は、自分を他人に対してより敏感にしたと思う。	1	2	3	4	5
16.似た体験をした人と出会うと、心地よい(安心する)	1	2	3	4	5
17.私のリカバリー(回復)は、「良くなること」に対して他の人が抱くイメージを変えることができた。	1	2	3	4	5
18. つらかった体験の意味を見出すことができる	1	2	3	4	5
19. 積極的に生きている	1	2	3	4	5
20. 精神保健スタッフの見方が、唯一の視点ではないとわかっている	1	2	3	4	5
21. 自分の生活を自分でコントロールできる	1	2	3	4	5
22. 楽しいことをする時間をつくっている	1	2	3	4	5

4. 次の1～19が表す各支援行動に対して、あなたが日常実践の中で「A. どの程度行っているか(実施度)」, および「B. それを行う自信がどの程度あるか(自信度)」について、右欄のもっとも当てはまると思う番号1つに○を付けて下さい。
 ※ 各項目中の「本人」は、サービス利用者(患者)のことを表します。

	A. 実施度				B. 自信度			
	ほとんど行っていない	あまり行っていない	行っている	行っている	自信がない	あまり自信がない	まあまあ自信がある	自信がある
1. 本人の病状が不安定になる可能性があると感じた場合でも、本人の挑戦したいという気持ち(就職や恋愛など)に、まずは肯定的なコメントを返す。	0	1	2	3	0	1	2	3
2. 本人の個人および環境の持つストレンクス(長所・強み)を、本人との対話や行動のなかで一緒に見つける。	0	1	2	3	0	1	2	3
3. 本人の個人および環境のもつストレンクス(長所・強み)を活かし、伸ばしていく方法を、本人との対話や行動のなかで一緒に考える。	0	1	2	3	0	1	2	3
4. 目標設定や支援計画づくりは、本人と共に考え、本人が主体的に選択できるようサポートする。	0	1	2	3	0	1	2	3
5. クライシス(危機的状況)時に、本人が自分で行うと良いこと、周囲の人にやってほしいことなどを、事前に本人と一緒に考える。	0	1	2	3	0	1	2	3
6. アセスメント票や支援計画の作成は本人と一緒に行き、共有する(本人もコピーをもっている等)。	0	1	2	3	0	1	2	3
7. 支援者の個人的なことだと思われるような話題は、本人には一切話さない。	0	1	2	3	0	1	2	3
8. 病気や症状以外の本人の個性、価値観などについても積極的に焦点を当てて本人と会話をする。	0	1	2	3	0	1	2	3
9. 本人が家族や友人・同僚など身近な人と、どのような関係であることを望んでいるかを尋ねる。	0	1	2	3	0	1	2	3
10. 目標設定や支援計画づくりのカンファレンス・話し合いは、本人が参加して行う。	0	1	2	3	0	1	2	3
11. 本人の希望を実現するために利用する資源は、障害者等のためにあるサービスを優先して検討する。	0	1	2	3	0	1	2	3
12. アセスメント票や支援計画には、本人の言葉を積極的に活用する。	0	1	2	3	0	1	2	3
13. 本人の上手い経験も上手いかなかった経験も、次の活動を行う際に役立つ体験と捉え、本人がそれを活用しやすいように対話を進める。	0	1	2	3	0	1	2	3
14. 支援計画は、支援活動の大部分が地域社会の中で(入院中の者に対しては、すみやかに病院の敷地外で)行われるように作る。	0	1	2	3	0	1	2	3
15. 支援にあたっては、本人が地域生活を送る上で望むことややりたいこと、現在の課題などを尋ねる。	0	1	2	3	0	1	2	3
16. アセスメント票と支援計画は、本人と一緒に定期的に見直し、更新する。	0	1	2	3	0	1	2	3
17. 障害の程度や病状の様子から、本人にはできないと判断される本人の希望や願いは、あきらめるように説得する。	0	1	2	3	0	1	2	3
18. 他の職種と情報を共有し、自分の専門職種の枠にとらわれず支援する。	0	1	2	3	0	1	2	3
19. 本人に、支援者たちとの関わりの中でどんなことができると良いと思うのかに焦点を当てて尋ねる。	0	1	2	3	0	1	2	3

5. あなたは最近 6 カ月位のあいだに、次のようなことをどの程度経験しましたか。右欄の当てはまると思う番号に○印をつけてください。

	いつも ある	しばしば ある	時々 ある	まれに ある	ない
「こんな仕事、もうやめた」と思うことがある。	5	4	3	2	1
我を忘れるほど仕事に熱中することがある。	5	4	3	2	1
こまごまと気配りすることが面倒に感じることもある。	5	4	3	2	1
この仕事は私の性分に合っていると思うことがある。	5	4	3	2	1
同僚や利用者の顔を見るのも嫌になることがある。	5	4	3	2	1
自分の仕事がつまらなく思えて仕方がないことがある。	5	4	3	2	1
一日の仕事が終わると「やっと終わった」と感じることもある。	5	4	3	2	1
出勤前、職場に出るのが嫌になって、家にいたいと思うことがある。	5	4	3	2	1
仕事を終えて、今日は気持ちのよい日だったと思うことがある。	5	4	3	2	1
同僚や利用者、何も話したくなくなることもある。	5	4	3	2	1
仕事の結果はどうでもよいと思うことがある。	5	4	3	2	1
仕事のために心にゆとりがなくなったと感じることがある。	5	4	3	2	1
今の仕事に、心から喜びを感じることもある。	5	4	3	2	1
今の仕事は、私にとってあまり意味がないと思うことがある。	5	4	3	2	1
仕事が楽しくて、知らないうちに時間がすぎることもある。	5	4	3	2	1
体も気持ちも疲れ果てたと思うことがある。	5	4	3	2	1
われながら、仕事をうまくやり終えたと思うことがある。	5	4	3	2	1

6. 下記の文章について、あなたはどの程度そう思いますか。あてはまる数字をひとつ選んで○をつけて下さい。

		そう 思わ ない	そう 思わ ない あ ま り	ど ち ら で も な い	ち や そ う 思 う	そ う 思 う
1	精神疾患が原因で、教育に関して差別されてきた。	1	2	3	4	5
2	精神疾患があることで、人から見下して話されていると感じることがときどきある。	1	2	3	4	5
3	精神疾患にかかったことで、以前より思いやりのある人間になった。	1	2	3	4	5
4	精神疾患にかかったことを、悪くは思っていない。	1	2	3	4	5
5	精神科で治療を受けていることを人に話すのは不安である。	1	2	3	4	5
6	精神疾患にかかっている人の中には、危険な人もいる。	1	2	3	4	5
7	他の人たちは、わたしの精神疾患のことを理解してくれている。	1	2	3	4	5
8	精神疾患のために、警察に差別されてきた。	1	2	3	4	5
9	精神疾患のために、雇い主に差別されてきた。	1	2	3	4	5
10	精神疾患があることで、以前より他人を受け入れることができるようになった。	1	2	3	4	5
11	精神疾患のために、とてもよく孤独を感じる。	1	2	3	4	5
12	他の人たちが、自分の精神疾患のことに気づくとどんなふうに反応するかが怖い。	1	2	3	4	5
13	もし精神疾患にかからなかったら、人生においてもっとチャンスに恵まれていただろうと思う。	1	2	3	4	5
14	わたしが精神疾患にかかっていることを近所の人たちに知られてもかまわない。	1	2	3	4	5
15	仕事に応募するとしたら、精神疾患をもっていることを言うだろう。	1	2	3	4	5
16	精神疾患のために薬をのんでいることを、人に話すのは不安である。	1	2	3	4	5
17	わたしの精神疾患に対する他の人たちの反応は、人付き合いしようという気を失わせるものである。	1	2	3	4	5
18	わたしの精神疾患に対する他の人たちの反応のせいで孤独になってしまう。	1	2	3	4	5
19	精神疾患を理由として、他の人からの扱いで困ったことはない。	1	2	3	4	5
20	精神疾患のために、スタッフから差別されてきた。	1	2	3	4	5

21	精神疾患のために、他の人たちはわたしを避けてきた。	1	2	3	4	5
22	精神疾患のために、他の人たちはわたしを侮辱してきた。	1	2	3	4	5
23	精神疾患にかかったことで、以前より強い人間になってきた。	1	2	3	4	5
24	自分の精神疾患のことを、恥ずかしいと感じてはいない。	1	2	3	4	5
25	自分の精神疾患のことを、他の人に話さないようにしている。	1	2	3	4	5
26	精神疾患にかかったことで、人生は不公平だと思うようになった。	1	2	3	4	5
27	自分の精神疾患のことを、友人に隠しておかないといけないように感じる。	1	2	3	4	5
28	精神疾患にかかっていることを人に話すのは難しいと思う。	1	2	3	4	5

7. リカバリーは、私たちが皆共有する、過程であり経験です。人は、愛する人の死や離婚、身体の障害や重い精神の病気などを経験した時に、リカバリーという課題にぶつかります。うまくいったリカバリーとは、その経験が起きたという事実や、その影響がまだあるという事実や、また、その人の人生が永遠に変わったという事実を変えることはありません。むしろ、その人が変化し、その人にとっての、それらの出来事の意味もまた変わるということの意味します。その出来事はもはや、その人の人生の一番中心的なことではないのです (Anthony, 1993)。

	まったくそう思わない	そう思わない	どちらでもない	そう思う	とてもそう思う
リカバリーの過程にある人は、時には後戻りすることもある	1	2	3	4	5
リカバリーには信念が必要である	1	2	3	4	5
精神の病気についての偏見は、リカバリーの進行を遅らせることがある	1	2	3	4	5
たとえ精神の病気の症状があったとしても、リカバリーは起こり得る	1	2	3	4	5
精神の病気の原因を何であると考えていたとしても、リカバリーは可能である	1	2	3	4	5
重い精神の病気を持つ人は誰でも、リカバリーするために励むことができる	1	2	3	4	5
精神の病気からのリカバリーのしかたは、人によって異なる	1	2	3	4	5

8. あなたの職場の雰囲気に関して、お聞きします。
右欄の当てはまると思う番号に○印をつけてください。

	全くそう 追わない	そう 思わない	そう 思わない どころか といえば、	そう 思う	どちらか かといえば、	そう 思う	とても そう 思う
私には、私の仕事仲間の下す仕事についての決定において、影響力がある。	1	2	3	4	5	6	
私の同僚は、仕事に関する情報を、私と率直にシェアする。	1	2	3	4	5	6	
私はたいてい、私の仕事仲間の仕事関係の活動に、関わったり招かれたりする。	1	2	3	4	5	6	
私は、私の組織を左右する決定に、影響を与えることができる。	1	2	3	4	5	6	
私が、組織での重要な変化について知るのは、ふつう最後の方である。	1	2	3	4	5	6	
私はふつう、組織での重要な会合に招かれる。	1	2	3	4	5	6	
私の上司はよく、重要な決定を下す前に私の意見を求める。	1	2	3	4	5	6	
私の上司は、私と情報をシェアしない。	1	2	3	4	5	6	
私は、振り返りや評価のための上司との会合に、積極的に参加するよう招待される。	1	2	3	4	5	6	
私はよく、直接の上司より上の運営部との会合で、意見を提出するよう求められる。	1	2	3	4	5	6	
私は頻繁に、直接の上司より上の運営部から、連絡を受ける(メモ、電子メールなど)。	1	2	3	4	5	6	
私はよく、直接の上司より上の運営部との会合に、参加するよう招待される。	1	2	3	4	5	6	
私はよく、職務に直接関係しない社交活動を計画するのに貢献するよう求められる。	1	2	3	4	5	6	
私はいつも、非公式の社交活動や組織の社交イベントについて知らされる。	1	2	3	4	5	6	
私はめったに、同僚が昼食を食べに行くときや仕事の後で飲みに行くときに、加わるよう招待されない。	1	2	3	4	5	6	

回答もれがないかご確認をお願いいたします。ご協力ありがとうございました。